

① エゴツルクビオトシブミ



エゴノキの枝についている揺籃(ゆりかご)、この中に卵を産み付けます。

② オオスカシバ



広場内を飛んでいました。ハチドリのようにホバリングをして花の蜜を吸う姿が特徴的です。

③ ナガサキアゲハの幼虫

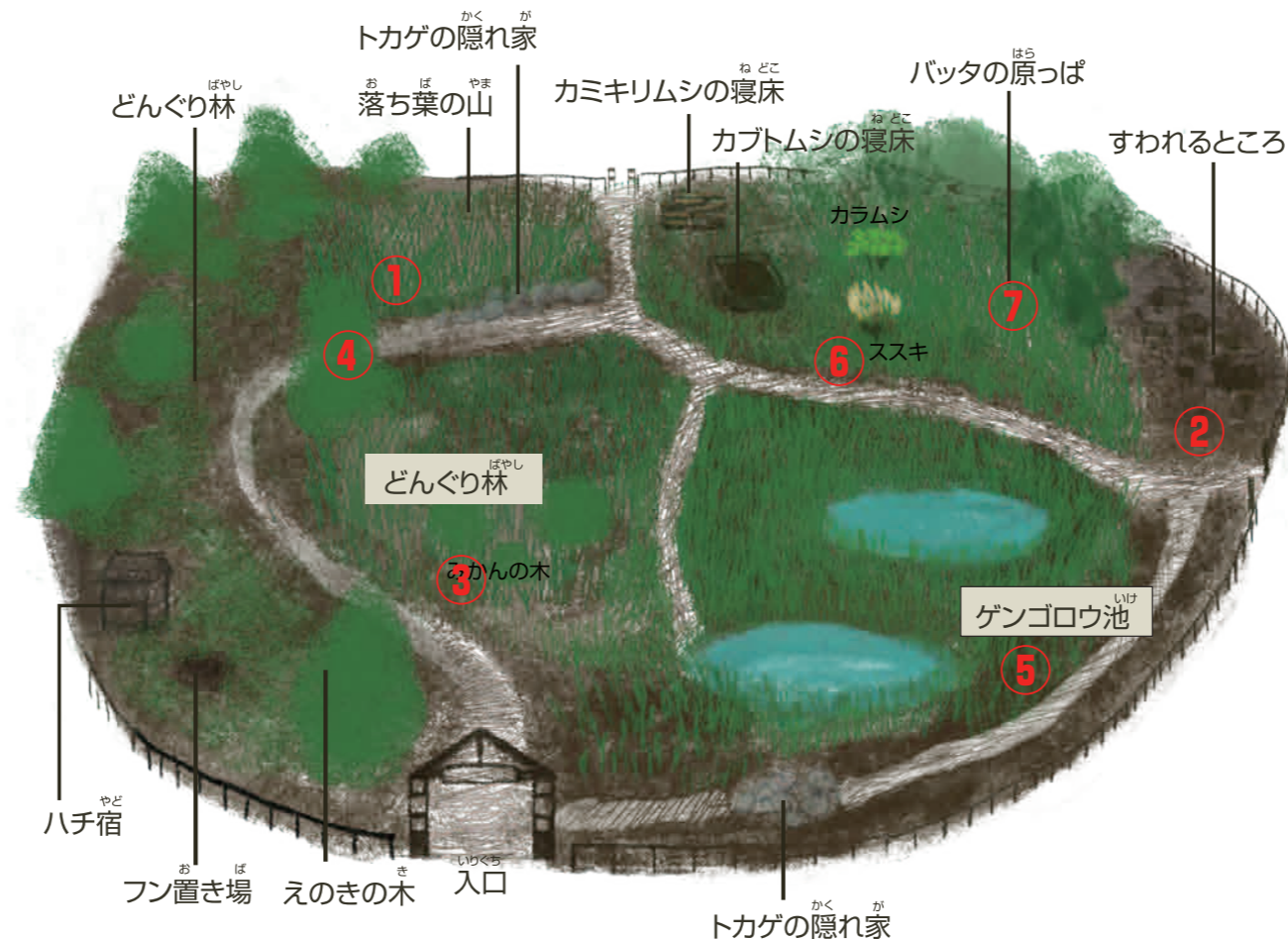


木についていたナガサキアゲハの幼虫、立派な終齢幼虫になっていました。

今週の

いきもの広場

いきもの広場は、動物園のなかに作った「近所の自然」です。都会にくらす私たちの身近にもじつはいろいろな生き物がくらしています。何もいないように見えるのは、私たちがその存在に気づくことができないだけなのです。広場のなかには生き物と出会うための小さなしかけがたくさん散りばめられています。生き物と出会うための、ちょっとしたコツがわかれば、きっと広場で小さな生き物たちのにぎわいを感じられるでしょう。



④ ハナムグリ



ハナムグリのほか、カナブンなど夏独特の虫たちも見られるようになってきました。

⑤ ニホンカナヘビ



広場内にはニホンカナヘビやニホントカゲもよく見られます。捕まえて違いを見分けてみましょう!

⑦ ショウリョウバッタ



今年もバッタの季節がやってきました。バッタの原っぱを歩くとぴょんぴょん飛び出てきます。

⑥ クロオアリ



観察ボードの下の巣では、蛹や幼虫の姿が見られます。見つかるとすぐに巣の中へ運び込んでしまいます。